

平成30年度

一般社団法人能水会  
定時社員（代議員）総会議事録



日 時 平成30年6月16日（土）

9：00～12：00

会 場 新潟県立海洋高等学校（大会議室）

新潟県立海洋高等学校同窓会

一般社団法人 能 水 会

## 総 会 次 第

1 日程説明 渡辺事務局長より日程説明がある。

能水会総会 9:00～12:00

海洋丸体験乗船 12:00～13:00

懇親会 13:00～15:00

2 岩崎昇会長挨拶

本日、出席の皆様並びに会員の皆様の能水会への日頃の協力に感謝申し上げます。

・母校が昨年に内閣府から第10回海洋立国功労者表彰を受賞し、全国的な活躍をしていることは能水会としても大変喜ばしい。

・母校に久保田校長の後任として4月から椎谷校長が着任された。椎谷校長は、10年前に母校の教頭として110周年事業の立役者として活躍された経歴があり、来年度の120周年事業と海洋丸代船祝賀会の成功に向けて大変頼もしく適任の方で喜ばしい。本会としても今後、120周年事業に向けてしっかり準備をして行きたいので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いしたい。

・教育支援金が今年で6年目となり、母校生徒の教育や生徒募集に効果的に使用されており、糸魚川3校の中で母校だけが唯一志願倍率1倍を超えた。また、今年度入学生の3分の1が遠隔地の生徒の現状で益々、本会の寮運営が重要になってくる。寮生の増加に伴い、寮の増築を新潟県高校教育課に要望し続けていた事が実り、増築工事が決定し、今年の4月から工事が行われ、2月に完成の予定である。

・全国の同窓会支部運営は、少子高齢化に伴い、会員数が減少し、会費も減少し、どこの支部も運営が厳しい状況にあります。各支部を活性化には全国の支部を無くさず維持するために支部の広域連合を行い、互いの協力や全国支部長会議の開催などで支部を活性化することが大切だと思います。

・海洋高校卒業生が26年目になり、最初の卒業生が45歳と公私において多忙な時期であり、現在は母校や同窓会に目が向かないと思われませんが、今後5年後の中期ビジョンとして海洋卒業生が50歳になり、母校や同窓会に目が向き、若い人達が軸となって同窓会活動に参加できるよう各支部組織で盛り上げて欲しいと考えます。

3 椎谷一幸学校長挨拶

校長の椎谷一幸と申します。春から前任の久保田校長より、本校を引き継ぎました。

本日、一般社団法人能水会総会の開催、誠にありがとうございます。日頃より同窓会の皆様には学校教育の支援を頂き誠にありがとうございます。生徒募集のポスターや説明会の広報活動の支援、生徒会部活動への支援深く感謝申し上げます。

・鮭魚醬「最後の一滴」が全国的に知られ、本校生徒のアイディア商品としての製造販売とマーケティングが高く評価され、海洋立国功労者表彰を受賞できたことは、一番大変な工場

運営を同窓会でしていただいたお陰であります。その工場も今年4月から「最後の一滴」開発をした松本教員が学校を退職し、個人として株式会社能水商店を経営し、工場運営を引き継ぐ事となりました。本校も食品科学コースが総合実習において食品製造技術を身につけ地域の活性化に繋がる糸魚川版デュアルシステムとして能水商店を活用していきます。このため、同窓会が立会で糸魚川市、能水商店、学校で産官学連携協定を結ぶことになり6月26日に糸魚川市役所で調印式が行われる予定で、同窓会からは伊藤副会長から出席して頂くことになっています。

・実習船新造の決定に伴い、新船の名前を生徒会でアンケート実施した結果77%の生徒が前の海洋丸の名前が良いとなり、それを県に伝えたところ、新船の名前が「海洋丸」に決定しました。

・本校ではシーマンシップの精神で様々な事業を精力的に取り組んで実績を上げてきました。

今年の生徒スローガンは「海内無双」日本一の海洋高校を目指し、一人一人が自らの力をシーマンシップで発揮する決意です。

・今年には本校創立120周年であります。来年6月に新船海洋丸のお披露目を同時に開催するために創立120周年が来年になりましたが、能水会の皆様の変わらないご支援よろしくお願いいたします。

#### 4 資格確認（定款第30条第1項及び2項）

総社員数132名、過半数67名、総社員数の3分の2は88名である。

本日の出席23名、委任74名、合計97名で本総会は定款により成立する。

#### 5 黙 禱

平成29年度物故者に対して出席者全員で黙禱を行なった。

#### 6 議長選出（定款第28条）

議長選出について出席代議員に問うたところ、事務局一任との声があり、事務局より推薦し承認された。

議長 能生支部 新制19回漁業科 滝澤 文夫

#### 7 議事録署名人の指名（定款第31条第2項）

議事録署名人の指名について出席代議員に問うたところ、事務局一任との声があり、事務局より議長他、理事2名を推薦し承認された。

議長 滝澤 文夫

理事 石井 順二

理事 小林 忠

## 8 議 事

### ○議案第1号 社員（代議員）の選任について（定款5条第5）

資料 平成30年度一般社団法人能水会社員（代議員）名簿（案）

渡辺事務局長より案が説明された。

各支部より選出していただいた代議員です。代議員定数は120以上150以内です。現在129名で条件を満たしております。各支部の代議員が欠員しましたら早急に各支部で選出していただきご連絡下さい。

第1号議案 社員（代議員）の選任について異議なしで承認された。

### ○議案第2号 支部長の選任について（定款第25条3号）

資料 平成30年度一般社団法人能水会支部長名簿（案）

渡辺事務局長より報告・説明がされた。

- ・長野支部は、現在休止支部として扱っています。
- ・栃木支部の伊藤信夫支部長のご子息より健康上の都合により役を退任。
- ・名立分校支部については、名立支部と合同で活動することになりました。
- ・また、函館支部、秋田支部については、こちらから支部長へ連絡をしておりますがご返事がありません。金沢支部、群馬支部については支部として活動することができない状況で個人会員として協力していくとのことです。

質疑を受けたが質問がなく、議案第2号 支部長の選任について異議なしで承認された。

### ○議案第3号平成29年度事業報告並びに貸借対照表及び正味財産増減計算書について

資料①平成29年度事業報告の通り渡辺事務局長より説明があった。

資料②平成29年度一般社団法人能水会貸借対照表及び正味財産増減計算書に基づき石井会計より説明があった。

- ・能水商店の製造業収入は売上で交際費はメンバーズの返礼品で157,840円である。
- ・減価償却費は設備に対し20%で設定、租税公課は消費税である。
- ・雑費1,076,306円はハラル認証にかかった費用である。
- ・本部の事業費891,820円は会議費である。
- ・全体の正味財産期末残高は23,136,989円の決算額となった。

質問

小林名立支部長：資料議案第3号③の支部会費納入合計金額334,000円と決算書の364,000円の違いは何か

回答

石井会計：上越支部の30,000円納入時期の関係で漏れていました。

質問

猪又能生支部長：寮費の延滞があるがその対応は

回答

石井会計：納入依頼を2名に対し、引き続き行って取り立てていきます。

資料③平成29年度会費納入額及び平成30年度納入依頼額について

渡辺事務局長より報告・説明がされた。

資料④監査報告

斎藤筆頭監事より会計監査報告がなされ、5月11日に監査を行った結果、収支決算について関係帳簿及び証拠書類が適正に処理されているとの報告があった。

第3号議案 平成29年度事業報告並びに貸借対照表及び正味財産増減計算書（損益計算書）について異議なしで承認された。

○議案第4号 アントレプレナー教育支援事業終了に伴う財産処分について（案）

資料の基づき渡辺事務局長より説明がされた。

昨年の総会で能水商店の移行について決議をいただき、その後、糸魚川市、学校、松本先生と協議を行いながら進めてきた。平成30年3月31日現在、能水商店財産 20,882,073円あり、機械装置で10,501,533円、流動資産で12,749,686円あります。流動資産の中身は普通預金と在庫等になります。

処分案は、機械装置については糸魚川市の補助金で購入したものがほとんどで、糸魚川市からは無償で貸し付けてもらいたいとの話もあり、本会として機械装置については無償で貸し付けることとし、維持管理等にかかる経費は（株）能水商店が支払うこととする。

県で購入したものもあるが、学校が貸付先となっているので本会とは関係はない。

次に、流動資産については、創業開始時に準備金として支出した150万円と赤字を乗り越えるために支出した50万円、合わせて200万円を能水会本部に返金してもらい、残る預金、在庫は能水会からの支援として提供することでいかがか。

議案第4号 アントレプレナー教育支援事業終了に伴う財産処分について資料の通り異議なしで承認された。

○議案第5号 創立120周年記念事業について

資料に基づき渡辺事務局長より説明がされた。

資料は6月5日に学校の会議資料です。岩崎会長が実行委員長となり伊藤清正副会長が副実行委員長、PTA会長及び校長が副実行委員長となって組織されております。

## 1 組織

120周年事業の組織と各係ですが、総務として伊藤清正副会長と伊藤理事、行事として猪又理事、事業として小林理事、募金として石井理事を当てさせていただきました。

式典及び祝賀会についてですが、平成31年6月15日土曜日、会場は母校体育館で式典は1時間を予定し、次の海洋丸の見学時間の都合上、記念講演は行わない予定です。

式典は代船就航式も兼ねており、式典後は海洋丸へバスの送迎を行い30分ほど船内見学していただきます。移動及び見学を合わせて1時間30分を見ております。

## 2 祝賀会

祝賀会は、会場が能生マリンホールで立食形式とし会費は5,000円で14時から2時間を予定しております。

## 3 記念事業

事業関係ですが校旗新調と門幕（生徒玄関用と職員玄関用）を予定し、昨年予定した体育館の幕は作成しないことになりました。また、120周年及び代船就航の記念になる記念品を参加者に渡したいとの話も出ております。

## 4 記念刊行物

記念刊行物ですが110周年から10年間のもので簡単なものにしたいとの話でした。

## 5 募金

募金額についてはできるだけお金をかけないで簡素化する方向で検討するとのことでした。一応昨年出しました7,700,000円とするがもっと少ない予算で行えるよう検討していく方向です。

このような状況ですので、はっきりとした骨子ができていないので趣意書ができる状況になく、総会后からの募金活動ができない状況です。

会員への募金活動は会報日本海を通じて行い、企業及び一般については、骨子が固まり予算が決まり、募金目標額が確定し趣意書が間に合い次第各支部へ110周年の募金先参考資料をつけて発送し、各支部で回れる企業先周りを行っていただきたいと思っております。

質疑を受けたが質問がなく、議案第5号創立120周年記念事業については異議なしで承認された。

## ○議案第6号 一般社団法人能水会理事の選任について

資料：平成30年度一般社団法人能水会役員名簿（案）渡辺事務局長より説明がされた。

本来であれば、理事を承認して頂いた後、会長及び副会長を選任し承認して頂くところですが、5月19日に理事会で案通りに認めて頂きました。この選任案でよいか

第6号議案 一般社団法人能水会理事の選任について異議なしで承認された。

報告 平成30年度事業計画及び収支予算書について

資料①平成30年度一般社団法人能水会事業計画(案) ②平成30年度一般社団法人能水会収支予算書(案)の通り渡辺事務局長及び石井会計より説明がされた。

その他

#### 1 支部活動状況調査結果

昨年の総会后、支部長、代議員宛にアンケートをさせて頂きました。

支部長承認のところでもお話をさせて頂きましたが、函館支部、秋田支部、佐渡支部、金沢支部、長野支部、栃木支部、群馬支部、など組織自体がなくなっているところや活動できない状況であるとのこと。今後ますます、この問題は拡大していくものと思います。各支部の存続をどのようにしていくか、会員の取り込みをどのようにしていくかを話し合ってくださいと思います。

意見

陸川東京支部理事：どこの支部も運営が苦しい状況で、1つの支部だけで取り組んでいても問題を解決するのは困難と思われる。従って支部組織の課題等を話し合える場や決定出来るような組織をお願いしたい。また、若年層を支部に取り込む方法を早く進めてもらいたい。

伊藤副会長：近年は総会出席者の自己紹介がないため支部長同士の繋がりが少ないと思われるので今後、自己紹介を復活させたいと考えます。

細内関西支部代議員：総会前日に全国支部長会議の開催や総会で各支部長が支部活動の報告を行ったらどうでしょうか。

○事務局電話及びメールアドレスの変更について

事務局電話の廃止に伴い今後、は下記のところに連絡願います。

海洋高等学校 TEL 025-566-3155

FAX 025-566-4781

渡辺事務局長携帯 090-4132-7603


メールアドレス [takatori.junichi@nein.ed.jp](mailto:takatori.junichi@nein.ed.jp)


予定していた時間内で慎重審議を行い、本総会は11時45分に全ての審議を終了した。

平成30年6月16日

上記の決議を明確化するため、一般社団法人能水会定款第23条（議事録）により議事録を作成し、相違ないことを認めます。

議事録署名人

議長 滝澤 文夫 

理事 石井 順二 

理事 小林 忠 